

第 14 回 観音寺市民会館開館準備実行委員会【要約】		日時	平成 28 年 2 月 22 日(月)19：00～21:00
		場所	観音寺市役所 2 階 201 会議室
出席者	委員 10 名、事務局 4 名、事務局補 2 名		
議題	(1) 第 13 回議事録(要約)について (2) 開館記念事業について (3) その他		

1. 開会

開会のあいさつ。

2. 委員長あいさつ

委員長のあいさつ。

3. 議題

(1) 第 13 回議事録(要約)について

資料を元に議事録(要約)について説明。確認の後、内容を承認。
承認された議事録を市のホームページで公開する。

(2) 開館記念事業について

- ・事務局から開館記念事業についての説明

■地元出身者・新人公演について

【委員質問】

- ・地元出身者・新人公演については、まだ具体的な話ではないが、実施する方向で企画を進めてよいか。

【委員一同】

- ・異議なし。

【委員意見】

- ・観音寺市に限らず、四国の他県も対象にするなど広く考えていただきたい。

■文化講演について

【委員質問】

- ・文化講演について。文化人 A に前向きにご検討頂いているとのことだが、いかがか。

【事務局意見】

- ・文化人 A に手紙で問い合わせ、我々の熱意が伝わり前向きに検討をしていたらいい。この方向で話を進めたいと考えている。

【委員一同】

- ・異議なし

■テレビ公開収録について

【委員質問】

- ・特にこの番組が来てほしい、などの希望はあるか。特に無いようであれば、1 本は公開番組を行う方向で、ここに挙げられた番組の他にも可能性のある番組を含め、市に交渉をお任せしたい。

【委員一同】

- ・異議なし。

【委員質問】

- ・1 本のみで考えているか。メディアで市民会館が放送されることは宣伝にもな

るので、1 本に限らずとも、可能性があれば複数の番組で放送を検討してもよいのではないか。

【事務局回答】

- ・現状は1本と想定している。

【委員意見】

- ・全体の予算とも関係してくる。

【委員質問】

- ・初年度は放送の可能性が高いが、次年度からは難しいということはあるか。

【事務局回答】

- ・現時点で全ての番組と交渉をしているわけではないが、テレビ局 A などは傾向として、開館記念は10周年などの冠があると、多少は呼びやすいようだ。

【委員質問】

- ・公開収録などを行う場合は無料になるのか。

【事務局回答】

- ・未定ではあるが、基本的には、整理券を配布することになるのではないか。

【委員意見】

- ・初年度でなく次年度であっても、市民会館が新しいうちに多くの番組で放送されたらと思う。

【事務局回答】

- ・今後、様々な企画も出てくる。できるだけ多くの催しができるよう指定管理者にも伝え、検討していきたい。

■有名人の公演について

【委員意見】

- ・ある程度、市の予算がかかる企画となる。現在複数人の候補が挙げられているが、人選についてご意見等があればお伺いしたい。

【事務局意見】

- ・現時点で回答をいただけていない事務所もあるが、ある程度の予算を見込まねばならないだろう。

【委員質問】

- ・高齢者を主な対象とした公演と考えてよいのか。

【事務局回答】

- ・対象を高齢者に限るわけではないが、そういう方向で議論されていたので表記した。予算が確保できるかという課題はある。

【委員意見】

- ・現段階で返答をいただけていない方は実現が厳しいだろう。
- ・ご回答をいただいた、芸能人 A、芸能人 B のうち、予算との兼ね合いも考えながら市で調整していただく、ということでしょうか。

【委員一同】

- ・異議なし。

■映画上映について

【委員意見】

- ・映画については先ほど事務局から説明があったので、話を進めて頂きたい。

【事務局質問】

- ・実現までには様々な調整が必要にはなるが、映画会社 A と話を進めてもよいのか。

映画作品 A などを上演できたらと考えている。

【委員質問】

- ・大ホールでも映画上演が可能なのか。

【事務局回答】

- ・映画上演は小ホールを前提に考えているが、映写機を借りて大ホールで上演することも可能である。

【委員質問】

- ・定期的に映画上演を行う、という方向でよいか。

【委員一同】

- ・異議なし。

■こけら落とし公演について

【委員意見】

- ・小ホールのこけら落とし公演については、音楽家 A も前向きに検討している。話を進めていただきたい。

【事務局回答】

- ・話を進めさせていただく。

■音楽系公演について

【委員意見】

- ・大ホールこけら落とし公演とも関連する。

【委員意見】

- ・音楽団体 A からは、前日入りで、演奏会も可能とご回答を頂いている。

【委員意見】

- ・指揮者 A の指揮は、一般向けの楽しめるプログラムになるだろう。前回の委員会では、コンクールの課題曲を演奏すれば集客が見込めるだろう、というお話をしたが、一般向けのほうが集客できるだろうか、とも考えると悩ましい。

【事務局意見】

- ・現在提案を頂いたプログラムは資料の通りだが、変更の相談もさせていただけるだろう。

【委員意見】

- ・課題曲の演奏よりも、一般向けの楽しいプログラムにしたほうが市民は来やすいだろう。どの程度集客が見込めるか予想がつかないのが難しい。

【事務局意見】

- ・開館記念なので、祝祭性があり楽しめるようなプログラムが望ましい、という話はさせていただいた。
- ・今ご意見を頂いたように、様々な方向性でプログラムが考えられるので、変更をすることも可能ではある。

【委員意見】

- ・今ご提案いただいたプログラムは、一般の方も聴きやすいプログラムだと思う。

【委員質問】

- ・率直な意見としてお伺いしたい。一般向けでなく、課題曲の演奏であれば、集客が難しいと思われるか。

【委員意見】

- ・自分ならば、一般向けのプログラムであれば行くが、課題曲ならば行くかどうかかわからない。ただし、中高生を集客したいならば、課題曲の演奏のほうが集

まるのではないか。集客については予想がつかないので、なんとも申し上げられない。

【委員意見】

- ・子どもの集客が多いと入場料も安くなるので、収入が少なくなるということはある。
- ・こけら落としの翌日なので、祝祭性があったほうが良いと思う。
- ・初日のこけら落とし公演の翌日の演奏会、という案だがいかがか。

【委員一同】

- ・異議なし。

■市民ミュージカルについて

【委員質問】

- ・平成 29 年 1 月に母体集め、4 月に出演者公募、5 月に練習開始、12 月に発表というスケジュールが、指定管理者候補者から提案されている。いかがだろうか。

【委員意見】

- ・私達がミュージカルを行った際も、4 月に出演者募集、5 月練習開始、12 月もしくは 2 月に発表というスケジュールだった。
- ・発表会は、1 年目 2 月、2 年目 12 月、3 年目 2 月に行った。なぜ 3 年目で 2 月に戻したかという、観音寺市は 10 月にお祭りがあり、練習と時期が重なるからである。大きなイベントと時期が重なると、集中して練習したい発表前の期間に人が集まらない。2 月も市民音楽祭があるので、それとの関係があるだろう。

【事務局回答】

- ・早ければ 12 月に発表、と考えている。スケジュールは現時点での想定なので変更になる可能性があるが、開館年度の 3 月までに発表を行う、ということは決定している。2 月は市民音楽祭や講演会も予定されている。他の事業とのバランスも考えながら発表の時期を決定する。

【委員質問】

- ・市民ミュージカルは初年度以降も継続するのか。

【事務局回答】

- ・市としては、単発では勿体無いので継続していきたいと考えている。
- ・開館年だけでなく、継続して実施することで、出演者、表方、裏方ともに育成したいと指定管理者候補者と話をしている。

【委員質問】

- ・指定管理者を中心として、指定管理者の支援を受けながら市民ミュージカルを企画する、ということでしょうか。
- ・指導者はプロを呼ぶのか。

【事務局回答】

- ・現在指導者の候補として伺っているのは、劇団 A の OB、OG を中心に考える、ということである。
- ・ただし、委員が今お願いしている指導者の方との繋がりもあると思うので、その関係の中でお願いしていただくのもひとつの方法と考えている。

【委員質問】

- ・今指導をお願いしている方との問題などはあるそうか。

【委員意見】

- ・今の指導の方には、何年間か継続して指導をお願いしている。
- ・演出の方が誰になるかで、指導者や役者との間を調整するスタッフの動きなどが大きく変わる。
- ・スタッフとしての経験はゼロではないが、私たちがスタッフを務めたとしても、本番までの段取りは演出家により全く変わるので、同じような動きはできないだろう。

【事務局意見】

- ・指導者によっても、色々とやり方が違うと思う。

【委員質問】

- ・具体的には、どのように指導していただいていたのか。

【委員回答】

- ・今年度は、大阪在住の方に月1で来ていただいている。
- ・例えば、こちらで音楽指導は地元の方を起用するなどすると、演出家との打ち合わせや意図を伝えるのに時間がかかってしまう。今年度は、演出の方に、自分の意図を伝えやすい音楽指導者をお願いしていただき、ロスを少なくした。役者も、意図が伝わりやすかった。
- ・音響、照明も演出家の中にイメージがあるので、それが思うように表現できるかも難しい。

【委員質問】

- ・スタッフは市民会館のスタッフが務めるのか。作品創作が可能なレベルのスタッフを集められるのか。

【事務局回答】

- ・そのようなスタッフを雇用する予定である。

【委員意見】

- ・演出家と各スタッフがうまくコミュニケーションをとれるかは非常に大きい。

【委員意見】

- ・私達の場合、ホールではない場所で上演したので、通常の公演に比べ、よりプロの手が無いと難しかった。ホールで公演するのならば、ホールのスタッフが照明をやってくださればリハーサルも1回で済むようだ。

【事務局意見】

- ・これまでは市民が中心となることを想定していたが、指定管理者側が主導となると、最初のスタッフ決めなどもあるだろう。

【委員意見】

- ・指定管理者も、ホール職員がホール機能や備品を習熟する期間も含めて12月に発表がよいと考えているかもしれない。

【事務局回答】

- ・そのような要素も含め、本番の日程を想定しているだろう。

【委員意見】

- ・あるホールで、スタッフの習熟度が足りずに困ったことがあった。スタッフの習熟期間も考慮した上で本番の日程を設定されているだろう。それならば、演出も作品づくりに注力できる。そのようにしたほうが、市民の育成としても効果的ではないか。

【委員意見】

- ・演出家も、気心の知れた方にスタッフをお願いしたいだろう。

- ・市民ミュージカルは、今活動して芽が出た市民を育てたい、という想いから話が始まった。子どもや、スタッフが市民ミュージカルに関わることで勉強になり、レベルが上がるような方をお願いをしたい。

【事務局回答】

- ・市としても、そのように考えている。

【委員意見】

- ・毎年市民会館の企画として出演者やスタッフを募るのはよいが、現在自分たちの活動をしていらっしゃる方もいる。活動を掛け持ちするのは難しいと思うので、皆が今の活動を優先したとしたら、市民会館で募っても応募が無いのではないか。このような状況や背景を汲んでくださる方でない、難しいと思う。

【事務局回答】

- ・市で行われている活動や、現在の文化芸術状況については指定管理者候補者にもお伝えしているので、心配ないと思う。

【委員意見】

- ・継続のためには、シナリオの内容が非常に重要である。今年行ったミュージカルは、出演者は子どもだが、シナリオは子ども向きではない。
- ・大人が観て面白い芝居を子どもがするのはどうか、というご意見もあるが、単純に楽しいだけでは一過性のもので終わる。演出家もそれを考えてシナリオを選んでいる。

【委員質問】

- ・これまでの活動と、新たな市民会館での活動を並行して行うことは難しいのではないか。

【委員意見】

- ・それは難しいだろう。複数の企画に参加するのは難しい。そのためにお祭りなどの大きなイベントに配慮する必要がある。また、興味が続かないと、活動も継続しない。

【事務局補佐意見】

- ・29年の1月を待たずに指定管理者とコミュニケーションをとって、今までに根付いている活動と新たな市民ミュージカルがうまく融合できる方法を模索することが重要となる。「これが委員会の意見です」と指定管理者に提示するだけでなく、お互いに意見交換ができることが重要である。

【委員意見】

- ・指定管理者の意気込みもあるので、いいものになるよう、考えていただきたい。内容を何にするかは難しいところである。

【事務局回答】

- ・指定管理者候補者は、地元で運営に携わりたい人がいれば、極力受け入れたいとの意向である。また、内容については、地元らしさを出せばいいとお話を頂いている。

【委員意見】

- ・指定管理者候補者がそのように考えてくださるならば心配いらないだろう。
- ・事業費が未確定など、これから詰めて行かねばならない要素はある。
- ・スケジュールの詳細は今後詰めるとして、概ね今日提示されたようなスケジュールで市民ミュージカル事業を進めていく、という方向でよろしいか。

【委員一同】

- ・異議なし。

■音楽系公演について

【委員質問】

- ・現在想定されている予算で足りそうか。

【委員意見】

- ・メンバーやプログラム、ゲストミュージシャンを呼ぶかで予算が変動するのではないか。現時点ではわからない。
- ・おそらく、チケット料金はS席5,000円、A席3,000円程度で設定できるのではないか。

■新人公演について

【委員意見】

- ・観音寺市にも、ポップスやバンド等で活動している若手が多くいる。観音寺市内だけでなく、三豊市や香川県内に範囲を広げると多くの方がいる。そういう人を新人として集め、公演を行いたい。
- ・都心ではなく、地方で売れて都心へと活動を広げる、ということがあれば面白い。何か、良い方法はないものかと考えている。

【事務局意見】

- ・例えば、市のHPや友の会を活用するなどか。
- ・最近であれば、音楽に限らずとも動画サイトでの流行がきっかけとなることもあるので、そういったところに力を入れるのもひとつの方法ではないか。

【委員意見】

- ・観音寺市民会館の小ホールからスターを出したい。
- ・開館記念として新人公演を行うことは可能なのか。

【事務局回答】

- ・他の事業との兼ね合いを見ながら時期を決めるが、開館記念事業なので、ある程度の日程は融通できるだろう。

【委員意見】

- ・新人公演といっても、クラシック系とポップス系で系統が分かれる。どのように行うのがよいか。
- ・クラシック系の新人公演は、高松市や丸亀市でも年に1度は行われており、公募で行っている。
- ・ポップス系の新人育成については耳にしたことがないが、どうなるか。

【委員意見】

- ・定期的なライブを行うことで全国から若いファンが来る。先日観音寺市で演奏を行ったバンドは、東京からファンの子が演奏を聴きに來ていた。

【委員意見】

- ・ポップスは小さなライブなどが多く行われているが、クラシックについては発表の機会が少ない。

【委員意見】

- ・ポップスも、売れていなければ単独ライブを行うのは難しい。また、ライブで黒字が出るのは大変である。ある程度は補助することが望ましい。
- ・他のホールでポップス系の育成事業はあまり行われていない。育成することで、小ホールからスターがでたら面白い。

■ プレ事業について

【委員質問】

- ・ プレ事業として、市民会館開館記念の冠事業募集を 2 月から開始する、というお話があったが、進捗はいかがか。

【事務局回答】

- ・ 3 月議会で予算が通れば確定となり、4 月の頭には募集ができるかと思う。予算が確定しないと募集ができない。
- ・ 一次募集で応募が少なければ、二次募集をかける可能性もある。また、2 回にわけて募集をかける可能性もある。

【委員質問】

- ・ 広報はどのように行う予定か。

【事務局回答】

- ・ 市の広報や HP への掲載、各団体への送付などを予定している。
- ・ 合併 10 周年記念の際に応募団体が少なかった、というご意見を踏まえた体制で行うことを考えている。

■ 開館記念事業すすめ方の確認

【委員質問】

- ・ 開館記念事業について、資料に挙げられているが、今のような方向性で準備を進めてよろしいか。

【委員一同】

- ・ 異議なし。

【委員意見】

- ・ それでは、市に一任する部分も含め、準備を進めていく。

■ 開館記念事業の入場料金の設定について

【事務局質問】

- ・ 各事業の入場料金の設定の考え方について、委員の意見を頂いたほうがいいのではないか。次年度の 29 年度の予算要求となるので、ある程度チケット料金の想定をしておかねばならない。

【事務局意見】

- ・ 個人的な意見になるが、「文化芸術を鑑賞する際には、相当の金額を支払う必要がある」というお話もあったので、そのように設定したいと考えている。日本全国で行われている同様のイベントを参考に設定してはと考えている。

【委員意見】

- ・ 全国規模の料金設定として、観音寺市で集客できるのかどうか。

【委員意見】

- ・ 記念事業だから値段を多少下げても多くの方に観ていただくのか。また、チケット料金の相場感というものもある。

【事務局補佐意見】

- ・ 指定管理者も同年度に事業を行うので、開館記念事業を安価に設定しすぎると、指定管理者の事業に行かなくなる可能性がある。

【委員意見】

- ・ 楽団 A は、高松で行った時に 5,000 円程度だっただろうか。

【委員意見】

- ・無料や安価な設定にするのか。高齢者は、いくらチケット料金であれば買ってくれるか。チケット料金を安価にすればするほど、予算がつかないと招聘が不可能になる。

【委員意見】

- ・いくつか目玉となる事業を選び、その事業については値段設定をしてはどうか。安ければよい、というわけではない。

【事務局意見】

- ・安すぎたり、高すぎたりする価格にはしないと考えている。本委員会として、具体的なチケット料金の設定について提案があるのであれば、それに沿って予算要求を行う。

【委員意見】

- ・「記念事業」という役割を考えると、いくつかの事業については、通常よりも安価な設定となるのではないか。

【事務局意見】

- ・一度全国的に一般的な価格設定を提示し、参考とするのもひとつの方法と考えている。

【委員意見】

- ・本委員会で考える適正価格と、市民感覚での適正価格が一致しない可能性はある。

【委員意見】

- ・料金の設定については、指定管理者も含めて検討せねばならない。

【事務局意見】

- ・この場で具体的な料金を決めたい、というわけではなく、チケット料金設定の考え方について、みなさんがどうお考えかを確認させて頂きたく、お話をさせて頂いた。

【委員意見】

- ・公演の内容によって、皆さんの意識が異なるだろう。

【委員意見】

- ・集客できれば黒字となる可能性もある。
- ・こけら落とし公演を検討する際にも、「育成し、将来につなげる」という観点から、市民参加型の公演に決定した。こけら落とし公演の他、市民ミュージカルなど育成を目的にした事業がいくつかある。それについては、市の支援がなければ事業が成立しない。

【委員意見】

- ・育成事業に関しては、市の支援が前提となる。そこは市に頑張ってもらいたい。

【委員意見】

- ・現在無料と想定されているものに関しては、無料でもよろしいか。
- ・地元出身者・新人公演も、チケット料金が1,000円程度で、会場費を減免や免除するなどの多い。
- ・映画上演も、皆さんに気軽に楽しんでもらう、という意図であれば500円程度だろう。
- ・指定管理者との協議も必要になる。特別な公演を除き、有料公演とするのが委員会の総意なので、受益者負担を前提とした考え方で良いだろう。

(3) その他

- ・ 来月の委員会は開催せず、本年度の議論は本日を持って終了とする。
- ・ 4 月以降の予定については、別途連絡をする。

副委員長のあいさつ。

4. 閉会

閉会のあいさつ。

以上